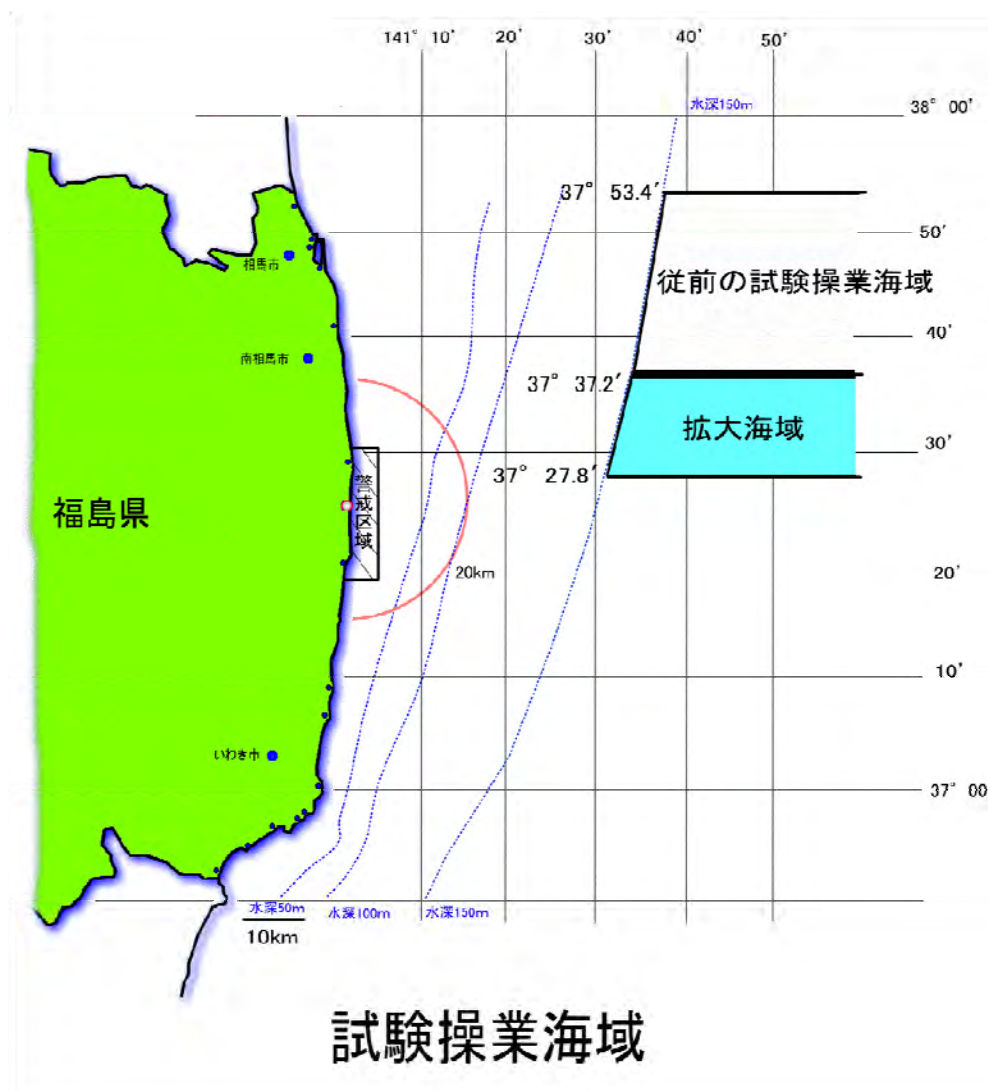


試験操業海域の拡大について

現在相馬双葉漁協所属の沖合底曳網漁船にて、相馬市沖合水深150m以深の海域に限定して、10種類の魚介類を対象とした試験操業が行われておりますが、先日10月10日に行われました第6回福島県地域漁業復興協議会において、相馬双葉漁協より、これまでの操業実績や魚種及び季節を考慮し、操業海域をこれまでの1.5倍の海域に拡大したい旨の提案がありました。

協議会にて検討した結果、福島県水産試験場の調査により試験操業対象魚種では、福島県全域で放射性物質がほぼ検出限界未満であることから、今後1ヶ月間は拡大海域で操業した漁船毎に1魚種1検体、検査を行う事とし提案通り承認され、10月19日に開催された第7回漁協組合長会にて海域の拡大が決定されました。

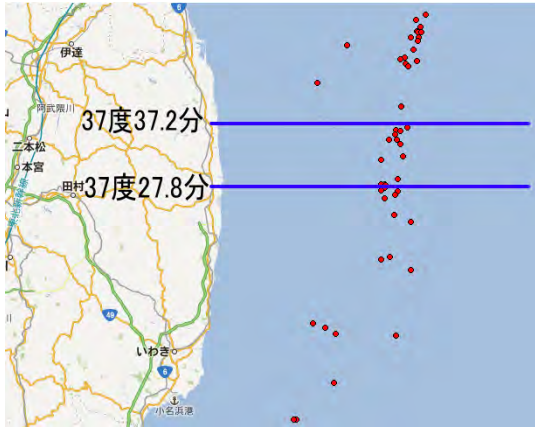


試験操業対象種の緊急時モニタリング検査結果

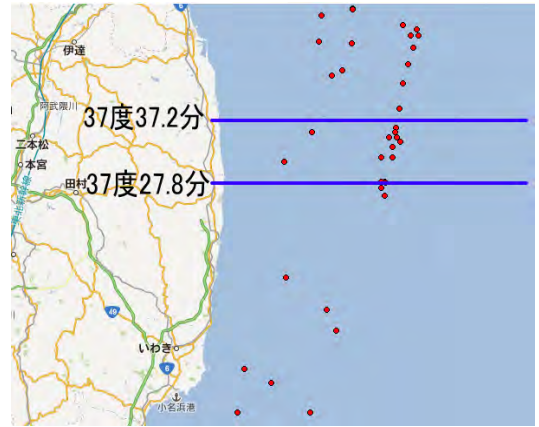
魚種	浪江町以北	双葉町以南
ケガニ	31 全て不検出	19 全て不検出
スルメイカ(マイカ)	28 //	9 //
ミズダコ	52 //	33 //
ヤナギダコ	62 1件6.6Bq/kg	39 //
シライトマキバイ	24	9
計	197	109

平成24年10月10日
福島県水産試験場

37度27.8分で区分



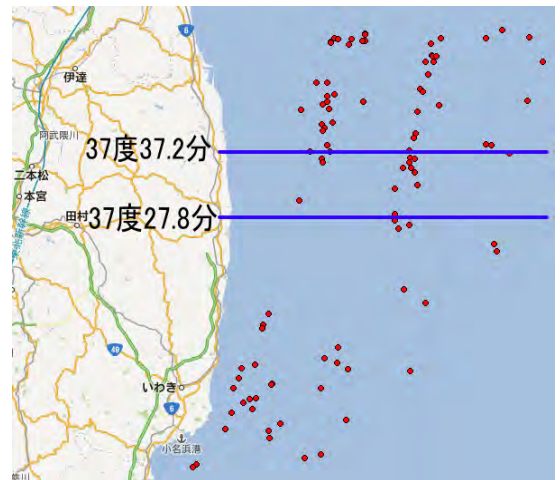
ケガニ



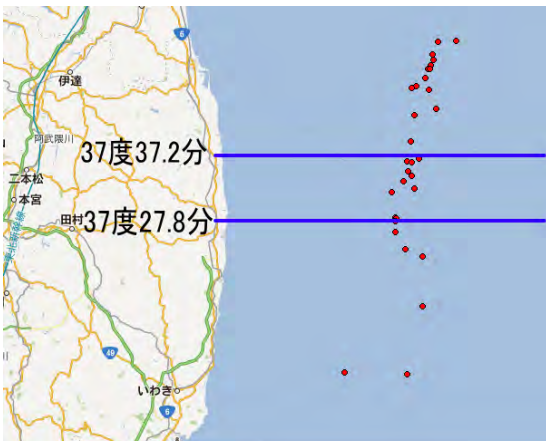
スルメイカ(マイカ)



ミズダコ



ヤナギダコ



シライトマキバイ

検体採取位置(平成24年1月~9月)